

(学年) 第3学年、(教科・科目) 国語・現代文 B

協働学習

(単元) 評論 (三) 『舞姫 (森鷗外)』

(本時のねらい)

- ①仕事と恋愛、選択を迫られる主人公の立場に立って心情を想像する。
- ②他者の意見を知ること、多様なものの見方や考え方に触れ、多角的な視点を身につける。

(ICT活用方法)

①導入

電子黒板に『舞姫』のあらすじを投影し、全員で内容を確認する。

②展開

あらすじを読んだ上で、仕事を取るか恋愛を取るかを個人で考え、ワークシートに記入する。そして、その内容を授業支援クラウドアプリに配信したワークシートに入力させる。生徒の入力状況をモニタリングし、全員が完了したところで電子黒板に投影し、意見の共有を図る。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・本時の目標及び活動内容について知る。	・本時の目標及び活動内容について説明する。	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・あらすじの朗読を聞く。 ・主人公になったつもりで仕事と恋愛のどちらを選択するかを考える。 ・自分の選択内容とその理由を授業支援クラウドアプリ上のワークシートに記入する。 ・自分の意見を授業支 	<ul style="list-style-type: none"> ・これから学習する『舞姫』のあらすじということは伏せておき、自由に心情や状況を想像できるようにする。 ・選択することに加え、その理由についても考えるよう指導する。 ・意見を投影する際は名前は伏 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらすじを電子黒板に投影する。 ・電子黒板に教師の例を投影する。 ・授業支援クラウドアプリに入力させる。 ・授業支援クラウド

	<p>援クラウドアプリ上のワークシートに入力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子黒板に投影された意見を見ながら、自分の意見と比較したり、他者の多様な意見を知ったりする。 	<p>せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 希望する生徒には内容について補足説明をさせる。 数名を指名し、感想を述べさせる。 	<p>アプリ内で作成した生徒のワークシートを投影する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 注目すべき点などにはインタラクティブペンを使用して、傍線を引いたり、まるで囲んだりする。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りと次時の予告を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動についての感想を周囲の生徒と話すよう促す。 	

(授業の様子)



授業支援クラウドアプリ入力風景



感想を述べ合う様子

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

意見の紹介は匿名で行うことを予告したので、リラックスして意見を考える様子が見られた。また、授業支援クラウドアプリの機能を生かしてフォントの色を変えたり、イラストを加えたりしてオリジナリティを出そうとする生徒もおり、結果的にバラエティに富んだ意見が集まった。授業支援クラウドアプリのモニタリング機能は、生徒の活動状況を一画面で把握することができるため大変便利であり、「先生に注目」機能によって、生徒を電子黒板に注目させることができる。この二つの機能は教師が授業を展開する上で大変有効であると実感した。しかし、更新状況や電波受信の状況には個体差があり、個々の ICT 作業スキルにも差があるので、授業支援クラウドアプリを使用して全員が共通の作業を行える状態にするまでに時間がかかっている。授業での使用頻度を増やすことで活用スキルの定着を図り、教師が作業指示を事前に行うことで、生徒自身が授業開始前に準備を整えておけるようにしていきたい。また、家庭に持ち帰ってレポート作成する場合は、コラボレーションプラットフォームの有効性が高いと感じている。次年度以降活用頻度を増やしたい。